

【第7回市民公開講演会と親睦交流会】

早春の晴れ渡った青空の下、3月24日（土曜）午後0時半、東京都江東区有明の「東京ベイ有明ワシントンホテル」にて第7回市民公開講演会と親睦交流会が行われました。今回の司会は（株）三栄コーポレーションの池田 舞女史にお願いしました。女性のソフトムードでスタートしました。まず認定NPO法人日本多発性硬化症協会、理事長の水谷裕之氏、理事兼医学顧問団代表の糸山泰人国際医療福祉大学副学長、全国多発性硬化症友の会、東京支部長の若林 章氏から挨拶を頂きました。その後、平成29年度医学研究助成審査委員長、順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学の田平武客員教授より審査に関する説明・挨拶があり、研究助成表彰式に移りました。受賞された九州大学大学院の磯部紀子先生、京都大学大学院の濱谷美緒先生、国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部の竹脇大貴先生に水谷理事長より賞状と目録が手渡されました。その後、東北医科薬科大学医学部の老年神経内科学教授、中島一郎先生の『多発性硬化症と視神経脊髄と抗 MOG 抗体関連脱髄疾患』の基調講演。そして、磯部先生の研究発表『日本人多発性硬化症患者の共通する T 細胞受容体相補性決定領域に基づいた責任抗原エピトープの同定』、濱谷先生の『多発性硬化症におけるスルファチドの免疫調整機能の解析』、竹脇先生の『MRI 正常/中枢神経脱髄性疾患の本態解明』、および平成27年度の受賞者の一人である北海道大学の有馬康伸先生の『神経シグナルによる免疫細胞の中枢神経系への侵入口形成機構の解明』の受賞者講演が行われました。若手先生の素晴らしい講演に拍手喝采でした。そして、認定NPO法人MSキャビンの中田郷子理事長の「ウォルフエンソンアワード受賞」に関するエピソードを熱く語ってくれました。ご自身がMS患者であり、MSに多大なる貢献をした人として日本人、アジア人として初受賞。次に、患者の皆様、ご家族の皆様、一般の皆様がご参加の先生を囲み親睦交流会となりました。第7回市民公開講演会と親睦交流会は、皆様のご協力、ご支援をいただき盛況に終了することができました。後援の全国多発性硬化症友の会、認定NPO法人MSキャビンの皆様、ご寄附を頂きました各企業様と各製薬会社様の皆様方に厚く御礼を申し上げます。基調講演と受賞者講演を頂きました中島先生、磯部先生、濱谷先生、竹脇先生、有馬先生、特別講演の中田理事長、さらにご挨拶を頂きました水谷理事長、糸山先生、若林東京支部長、田平先生、山本副理事長、そして講演会にご参加くださいました患者、ご家族、一般の皆様、ボランティアの皆様、ワシントンホテルの皆様厚く御礼申し上げます。今回のアンケートには、「中島先生のご講演が大変分かりやすかったです。受賞講演は難しくて分からないけれど、とにかく凄い！と感じさせる雰囲気伝わってきました。」と。この講演会の報告をMSIFに発信し、世界の皆様に共有していただきます。来年は『第8回市民公開講演会と親睦交流会』です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

水谷理事長開会の挨拶



中島先生基調講演



中田MSキャビン理事長特別講演



先生との交流会

認定NPO活動法人日本多発性硬化症協会 事務局長 中島荘次

〒111-0042 東京都台東区寿 4-1-2 電話：03-3847-3561 <http://www.imss-s.jp/>